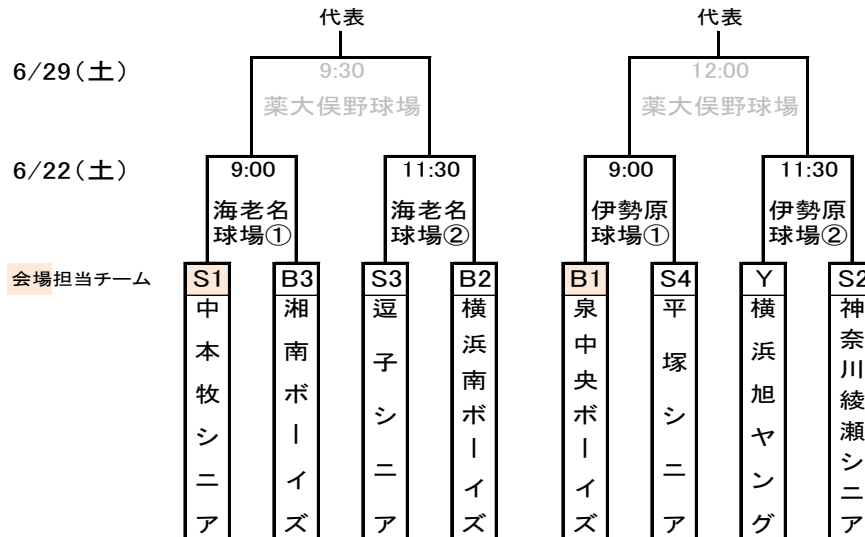


第18回 全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ 関東地区 第2次神奈川予選 概要

- 第2次予選使用会場
- ・ 6/22 海老名球場 (主管:リトルシニア)
 - 伊勢原球場 (主管:ボーイズリーグ)
 - ※予備日: 6/23(日) 瀬谷本郷球場、泉中央ボーイズG
 - ・ 6/29 俣野球場 (主管:ボーイズリーグ) (2試合)
 - ※予備日: 7/6(土) オセアホールパーク、他

組合せ



- 審判員 責任審判はリトルシニアで行う。派遣審判の依頼は4団体協議会より案内
- 球場管理
- ・ 球場・運営責任者 海老名球場 (主管:リトルシニア/ポニーリーグ) 役員/審判 7:30集合
 - 伊勢原球場 (主管:ボーイズ/ヤングリーグ) 役員/審判 7:30集合
 - ・ グラウンド当番 海老名球場(中本牧シニア) 伊勢原球場(泉中央ボーイズ)
 - ・ スコアボード操作 海老名球場(中本牧シニア) 伊勢原球場(泉中央ボーイズ)
- 試合球 大会本部で用意
- 選手登録書 2次予選の選手登録は20名以内。ベンチ入りは24名まで:選手20名、監督、コーチは含め4名以内。
※コーチ(代表者、マネージャー、スコアラー等を含む)3名以内。
- メンバー表 事前に案内済みの登録書5部(コピー)と、メンバー表(当日のスターティングメンバーのみを記載/控え選手は未記入で可)5枚綴りを到着後速やかに提出。
メンバー表は本部で渡した物を使用。到着後に速やかに本部席へ受け取りに来る事。(リトルシニアで用意)
- ロジンバッグ 試合する各チームで用意
- 大会記録用紙 ボーイズで用意
- 大会規則 ジャイアンツカップ規約に準ずる。
- ・ 試合成立 ・ 4回終了を以って試合成立とする。
試合は2時間制限試合とし、4回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でのイニング(表裏)を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。
(3回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する4回終了までは、そのまま継続して行なう)
 - ・ 4回終了前に、降雨や視界不良などにより試合続行不可能となった場合には、特別継続試合とし、後日中断した状況で再開する。
 - ・ 試合成立後に、上記理由により試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。
同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

- ・ タイブレイク 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長10回あるいは試合開始から2時間を超えては(どちらか早い条件採用)新しいイニングに入らず、タイブレイク方式を実施する。(一死走者満塁から開始)
- ・ コールドゲーム 4回以降10点差
- ・ 投手の投球制限 『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。
(球数はジャイアンツカップ規程とする)
(対戦する2チームから投球数カウント係りを各1名出し2名体制で行う)

そ の 他

- ・ 決定した代表の順位はトーナメント戦の得失点で決める。同点の場合は得点の多いチームを上位とする。それでも決定しない場合は失点数の少ない方が上位、以降は抽選で決定する。
- ・ チームは単独チームとし、ベンチに入れる指導者は、監督・コーチ(代表者・マネージャー・スコアラー等)含め4名までとする。
選手、監督、コーチは同一のユニフォームを着用し、背番号は所属の団体の規定に従う。スコアラーはスポーティな服装を着用する。
- ・ シートノック時間 5分
- ・ スパイクはシートノックから着用。それまではアップシューズを着用。
- ・ 次試合のチームの投手は、前試合4回終了以降ブルペンでの投球練習を認める。
(室外のブルペンでは捕手をガードする選手(ヘルメット着用)を付ける。)
- ・ 投手のマウンドでの投球練習は6球以内とする。
- ・ 投手が次の回の投球に備えて行なうベンチ前でのキャッチボールは禁止。
ブルペンでのキャッチボールは認める。
- ・ 捕手用マスクでSGマーク(安全基準適合マーク)がないマスクは使用できないこととなります。
当日、使用する捕手用マスクのSGマークが確認できない場合は使用できませんので注意して下さい
- ・ 打者のヘルメット(フェイスガード付き含め)はSGマークおよび購入年月日の記載がない物は認めない。
- ・ アームスリーブの使用を認める。投手以外については、片方の腕だけに着用する事を認め、両腕の長さが違っていても公認野球規則3.03(e)に違反するものとはしない。投手が使用する場合は、両袖の長さは同一とする。
商標の表示は認めず、色はアンダーシャツと同色とする。

以上